

プログラム

大会長講演

7月12日(土) 10:10～10:40 A会場(6B-101)

座長：足立 哲司(大阪体育大学 スポーツ科学部)

古くて新しい脳波と筋電図 ー運動準備期における感覚運動処理系ー

八田 有洋(東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科)

特別講演1

7月13日(日) 9:20～10:20 A会場(6B-101)

座長：木塚 朝博(筑波大学 体育系)

脳内の身体表現と生理学 ー身体運動への応用の観点からー

金子 文成(東京都立大学 人間健康科学研究科 理学療法科学域、
慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室)

特別講演2

7月13日(日) 10:30～11:30 A会場(6B-101)

座長：内山 秀一(東海大学 体育学部)

神経難病の基礎研究を通じた 身体運動制御の分子・細胞・生理学的機構の理解

秦野 伸二(東海大学 医学部 医学科 基礎医学系生体機能学)

教育講演1

7月12日(土) 15:30～16:30 A会場(6B-101)

座長：山田 洋(東海大学 体育学部)

脳科学×ICTでアスリート脳を理解し鍛える

木村 聡貴(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

教育講演2

7月12日(土) 15:30～16:30 B会場(6B-102)

座長：木田 哲夫(愛知県医療療育総合センター発達障害研究所)

運動で脳をととのえる ー運動×認知機能研究のこれまでとこれからー

紙上 敬太(中京大学 教養教育研究院)

教育講演3

7月12日(土) 15:30～16:30 C会場(6B-103)

座長：田中 喜代次(筑波大学 名誉教授、THF)

ピラティスとウエルビーイング

高田 香代子(一般社団法人 ピラティスアライアンス)

特別シンポジウム

7月12日(土) 10:50～12:10 A会場(6B-101)

座長：酒井 大輔(東海大学 医学部 外科学系整形外科)

「多元的データに基づくアスリートサポート ～TOKAI SPorto Med Hub の立ち上げ～」

SS-1 Risk factors and management strategies for fatigue fractures in adult athletes : a systematic review

Jordy Schol Tokai University School of Medicine, Japan

SS-2 国民スポーツ大会メディカルチェックと血液検査所見のフィードバックについて

小澤 秀樹 東海大学 医学部 総合内科、神奈川県スポーツ協会 スポーツ医科学委員会

SS-3 女性アスリート特有の課題と東海大学女性アスリート支援

池田 仁恵 茅ヶ崎中央病院ウイメンズセンター 婦人科、
湘南医療大学 保健医療学部、東海大学 医学部 専門診療学系産婦人科学

SS-4 eスポーツプレイヤーに特有の課題と、その医療サポート体制について

阿部 智史 医療法人救友会、東海大学 総合内科

SS-5 バイオモーション×多次元生体データで描くアスリート支援の未来図

酒井 大輔 東海大学 医学部 外科学系整形外科

SS-6 TOKAI SPortoMed Hub 立ち上げの苦労と展望

相馬 葉月 東海大学 医学部 外科学系整形外科 特定研究員、
東海大学スポーツメディカルコーディネーター

シンポジウム1

7月12日(土) 10:50～12:10 B会場(6B-102)

座長：須永 美歌子(日本体育大学 児童スポーツ教育学部)

「ウェルビーイングの向上をめざす性差研究の最前線」

S1-1 性腺機能低下症による代謝変化と持続的トレーニングの効果

高橋 謙也 Fralin Biomedical Research Institute at VTC

S1-2 骨格筋量を含む体組成の決定機構と性差

山崎 広貴 帝京大学 医学部 内科学講座

S1-3 エネルギー不足に伴う鉄欠乏：鉄代謝を制御するヘプシジンの関与

林 七虹 大阪公立大学 都市健康・スポーツ研究センター

S1-4 食欲・食行動の性差 ―女性ホルモンと運動の影響―

亀本 佳世子 日本体育大学

シンポジウム2

7月12日(土) 16:40～18:00 A会場(6B-101)

座長：笹木 正悟(東海大学 体育学部 競技スポーツ学科、東海大学大学院 体育学研究科)

「ウェルビーイングを脅かすピットフォール： 労作性熱中症と頭部外傷に関するコンディショニング」

S2-1 労作性熱中症(生理学的機序からの知見)

細川 由梨 早稲田大学スポーツ科学学術院

S2-2 スポーツ関連脳振盪における生理学的機序とコンディショニング： 血圧および脳循環調節機能に着目して

東本 翼 国立研究開発法人産業技術総合研究所 セルフケア実装研究センター

S2-3 頭部外傷の現状と課題

大伴 茉奈 桐蔭横浜大学 スポーツ科学部

シンポジウム3

7月12日(土) 16:40～18:00 B会場(6B-102)

座長：東 登志夫(長崎大学 生命医科学域保健学系)

「リハビリテーション分野における最新技術活用の可能性」

S3-1 リハビリテーション分野における最新テクノロジーの応用と今後の展望

東 登志夫 長崎大学 生命医科学域保健学系

S3-2 リハビリテーションにおける Virtual Reality の応用について

磯 直樹 東京家政大学 健康科学部

S3-3 AI ロボットと迷走神経刺激による デュアル・クローズドループ型手指機能訓練法の開発

桐本 光 広島大学大学院 医系科学研究科 感覚運動神経科学研究室

シンポジウム4

7月12日(土) 16:40～18:00 C会場(6B-103)

座長：甲斐 裕子(公益財団法人明治安田厚生事業団 体力医学研究所)

「データでつなぐスポーツと健康 —科学的根拠に基づく戦略と実装—

S4-1 スポーツにおけるデータサイエンス

山本 義郎 東海大学 理学部

S4-2 運動生理学と運動疫学の役割 —研究デザインや因果推論の視点から

松下 宗洋 東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科

S4-3 エビデンス・プラクティスギャップは埋められるのか? —実装科学への挑戦

甲斐 裕子 公益財団法人明治安田厚生事業団 体力医学研究所

シンポジウム5

7月13日(日) 14:50～16:10 A会場(6B-101)

座長：西島 壮(東京都立大学大学院 人間健康科学研究科)

「なぜ運動は海馬の機能を高めるのか? ～海馬を知り、次世代研究を創造する～」

S5-1 海馬が担う空間認識

北西 卓磨 東京大学大学院 総合文化研究科

S5-2 空間認知は海馬への運動効果を媒介するか

土田 竜貴 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科

S5-3 身体活動量の増加は海馬機能を向上させる必須条件か

船橋 大介 白鷗大学 教育学部

シンポジウム6

7月13日(日) 14:50～16:10 B会場(6B-102)

座長：瀬戸川 将(大阪公立大学大学院 医学研究科 神経生理学)

青木 祥(東北大学大学院 生命科学研究科)

「運動／行動を支える多階層脳システムの理解に向けて」

S6-1 行動の自動化を支える脳広域ネットワークの動的再編

瀬戸川 将 大阪公立大学大学院 医学研究科 神経生理学

S6-2 行動の選択と制御における記憶システム間の動的調節

雨宮 誠一郎 理化学研究所脳神経科学研究センター 神経回路・行動生理学研究チーム

S6-3 動きの順序を覚える脳内メカニズム

青木 祥 東北大学大学院 生命科学研究科

キーノートレクチャー1

7月13日(日) 11:40～12:40 A会場(6B-101)

座長：齋藤 健治(名古屋学院大学 スポーツ健康学部)

KL1 表面筋電図計測の基礎と応用

齋藤 健治 名古屋学院大学 スポーツ健康学部

富田 彩 名古屋学院大学 スポーツ健康学部

キーノートレクチャー2

7月13日(日) 11:40～12:40 B会場(6B-102)

座長：前田 清司(早稲田大学 スポーツ科学学術院)

KL2 認知症発症予防における動脈機能の役割：近位大動脈～脳動脈連関

菅原 順 国立研究開発法人産業技術総合研究所

一般演題・口頭発表 プログラム

7月12日(土)

口頭発表1

13:10～14:10 A会場(6B-101)

座長：中里 浩一(日本体育大学)

- A-1** 局所温熱刺激による筋細胞内 H_2O_2 レベルの変化
狩野 遼太郎 電気通信大学大学院、日本学術振興会
- A-2** 可逆的な酸化的修飾が不活動に伴う筋原線維の
能動的および受動的張力低下に及ぼす影響
渡邊 大輝 大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科
- A-3** ラット発育期骨格筋に特徴的な細胞内カルシウムイオン恒常性の制御機構
田渕 絢香 電気通信大学 情報理工学研究科
- A-4** 食餌制限が伸張性収縮による筋損傷・再生プロセスに及ぼす影響
馬場 浩平 電気通信大学大学院 情報理工学研究科 基盤理工学専攻
- A-5** グルコース6リン酸脱リン酸化酵素の強制発現がC2C12筋管細胞に与える影響
川瀬 桜子 日本体育学大学院 体育学研究科

口頭発表2

13:10～14:10 B会場(6B-102)

座長：麓 正樹(東京国際大学 人間社会学部)

- B-1** 網様体脊髄路が伸張反射制御に果たす機能的役割の解明：
大音響刺激を用いた手法の開発とその応用
杉野 広亮 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
- B-2** 思春期特発性側弯症患者と健常者の立位姿勢保持能力の比較
清水 結 東海大学 医学研究科 医科学専攻
- B-3** 間欠的な低酸素曝露が足関節底屈力に及ぼす影響
波多野 慶 ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
- B-4** 高状態不安時における回避的教示が
注意制御と知覚運動パフォーマンスに及ぼす効果
酒本 夏輝 清和大学
- B-5** 把持運動中の誤差を減少させる経皮的電気刺激法の検討
和坂 俊昭 名古屋工業大学 工学部

座長：下田 政博(東京農工大学大学院農学研究院 健康アメニティ科学研究室)

- C-1** 3次元ハーモニック振動運動による
身体機能および健康診断結果の変化について
鎌田 成香 医療法人桜十字 メディメッセ桜十字予防医療センター
- C-2** インターハイ陸上競技種目のパフォーマンスに及ぼす
暑熱環境および性差の影響
戸谷 敦也 大阪公立大学大学院 医学研究科 運動環境生理学教室、
大阪公立大学 都市健康・スポーツ研究センター
- C-3** 9日間の暑熱順化トレーニングがサラブレッドの乳酸代謝に及ぼす影響
北岡 祐 神奈川大学 人間科学部
- C-4** 運動教室、防災教室、運動×防災教室に参加する高齢者の体力および運動習慣
大槻 毅 流通経済大学 スポーツ健康科学部

一般演題・ポスター発表 プログラム

ポスター発表

ポスター会場(17号館 ネクサスホール)

奇数番号：7月12日(土) 14:20～15:20

偶数番号：7月13日(日) 13:40～14:40

- P-1** アルロースとロイシンの共投与が
力学的過負荷によるマウス骨格筋の肥大に与える影響
田島 弘基 名城大学
- P-2** 筋損傷後のアイシング処置に伴う骨格筋の応答変化における分子基盤の探索
芝口 翼 金沢大学 国際基幹教育院
- P-3** 運動パフォーマンス評価のためのヘッドセット型脳波計による
周辺視知覚の評価
水野 嶺 東海光学株式会社
- P-4** 単純な手指動作時の体性感覚系の変化における選択性：MEG 研究
木田 哲夫 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 神経情報研究部 高次脳機能研究室、
自然科学研究機構 生理学研究所 脳機能計測・支援センター 生体機能情報解析室
- P-5** 長期自発運動は社会的交流による共感性向上効果を増強する
北 一郎 東京都立大学 人間健康科学研究科
- P-6** 空間的に豊かな環境が成熟後のマウスの身体活動量と海馬機能に及ぼす影響：
幼少期の経験に着目した検討
船橋 大介 白鷗大学 教育学部
- P-7** マットピラティス介入が等速性膝伸展・屈曲力に及ぼす効果
八田 有洋 東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科
- P-8** 週1回のピラティス介入が中枢神経活動と気分に与える影響
福本 寛之 東京農工大学大学院 農学研究院
- P-9** 包括的エクササイズにおけるピラティスエクササイズがもたらす効果
矢野 琴弓 東海大学大学院 体育学研究科 体育学専攻
- P-10** 高強度インターバルトレーニングが
Go/NoGo 全身応答時間に及ぼす一過性の影響
加藤 雄一郎 平成国際大学 スポーツ健康学部
- P-11** 自転車走行レーンの幅が
高齢者における認知課題の反応時間と P300 に及ぼす影響：若年者との比較
下田 政博 東京農工大学大学院 農学研究院
- P-12** ヘッドマウントディスプレイを用いた動的バランスの学習過程における
感覚入力のみつけ
坂本 将基 熊本大学大学院 教育学研究科

- P-13** 腕立て伏せにおける手の位置と上肢および上肢帯の筋活動
齋藤 健治 名古屋学院大学
- P-14** 未熟練者へのヘッドマウントディスプレイを用いた
一人称視点映像フィードバックが運動学習に及ぼす即時効果
山田 洋 東海大学 体育学部、東海大学 スポーツ医科学研究所
- P-15** 野球のバッターの選球判断が打球速度に与える影響
—技術レベルとカウントにフォーカスして—
八木原 諒 東海大学大学院 体育学研究科
- P-16** 最大下運動時の呼気ガス中アセトン排出量はエネルギー消費量と関係する
富田 彩 名古屋学院大学
- P-17** C2C12筋細胞におけるイリシンの
IGF-I シグナルと BCAA 輸送体発現に及ぼす効果
金光 里莉子 神戸女子大学 家政学研究科 食物栄養学専攻
- P-18** 間欠高酸素暴露下の運動が
幼若期からトレーニングを積んだマウスの持久力向上に及ぼす効果
鈴木 淳一 北海道教育大学 岩見沢校 スポーツ・コーチング科学 運動生理学研究室
- P-19** 高齢者の集団的持久運動セッション前後の血圧応答
—陸上運動と水中運動の比較—
松井 健 追手門学院大学
- P-20** ユースサッカー選手の体力及びドリブル技術と認知機能との関係
東浦 拓郎 亜細亜大学 国際関係学部
- P-21** 昼間の短時間仮眠は認知機能や運動パフォーマンスに影響を及ぼすか
金田 健史 白鷗大学 教育学部
- P-22** 涙液を用いた運動時の乳酸測定の可能性について
高橋 咲貴 ハウス食品グループ本社株式会社 研究開発本部
- P-23** 体罰運動モデルの作成：
社会的ストレスを伴う運動が脳機能に及ぼす影響の解明をめざして
下田 みさ 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科
- P-24** 同主観的運動強度でのウォーキングサッカーとウォーキングにおける
生理学的運動強度
坂本 慶子 愛知学院大学 健康科学部
- P-25** カフェイン摂取が
血糖値および5分間全力自転車運動パフォーマンスに与える影響
丹治 史弥 東海大学 体育学部 競技スポーツ学科

- P-26** Effects of resistance exercise on appetite, food preferences, and energy intake across menstrual cycle phases
Liu Hungwen National Taiwan Normal University Department of Physical Education and Sport Sciences
- P-27** ボクシングアスリートに着目した入浴によるコンディショニング方法の模索
相澤 慧 東海大学大学院 体育学研究科 体育学専攻
- P-28** 軽度な高気圧酸素環境が cardiotoxin 誘発性筋損傷の回復過程へ及ぼす影響
竹村 藍 立命館大学 スポーツ健康科学部
- P-29** 肥満マウスの体重減少および耐糖能改善に対する
持続的運動とアリルイソチオシアネート投与の併用効果
都築 孝允 名城大学 薬学部 生理学研究室
- P-30** 一過的な持久性運動後の腓腹筋由来単離筋線維シグナル応答は
筋組織全体のシグナル応答を必ずしも反映しない
上道 和毅 立命館大学、日本学術振興会
- P-31** レナラーゼ遺伝子欠損が高強度運動時の骨格筋シグナル伝達に与える影響
加藤 優里 筑波大学、日本学術振興会
- P-32** 筋電気刺激による筋収縮回数の違いがラット腓腹筋へ及ぼす影響
谷 啓嗣 日本体育大学
- P-33** バスケットボールフリースローシュート時の言葉かけが
パフォーマンスに及ぼす影響
小川 幸代 東京国際大学 人間社会学部
- P-34** バドミントンバックハンドサービス前の脳波緩電位変動と視線の測定
麓 正樹 東京国際大学 人間社会学部